

ほかに映画・演劇界では、東映時代劇・仁侠映画の職人監督佐伯清（一九一四～二〇〇〇）
 二、その東映時代劇黄金期の看板スターだった大友柳太朗（一九二二～八五）／昭和の俳優
 聖「石田波郷（一九一三～六九）」に俳句を教えたのは同級生だった大友である。人気刑事
 ドラマ『太陽にほえろ！』の「ヤマさん」こと俳優の露口茂（一九三二～／愛媛大）、放送
 界ではNHKアナウンサーの武内陶子（一九六五～／神戸女学院大）、フリーアナウンサーの
 山岡三子（一九六四～／宝塚音楽学校／学習院大）も同校の出身だ。
 さて、松山東の伝統といえは、同校をモデルにした映画やドラマのタイトルにもなった
 「がんばっていきまっしょい」のかけ声。入学式などで生徒会長が挨拶をする際、これが最
 後に叫ばれる。すると、残りの生徒が「しょい！」と唱和する。同校はまた、ボート部の活
 動で知られ、夏には生徒全員が海に行つてレースを行う。

県立今治西高等学校

（今治市／一九〇二年創立／西条中学今治分校→今治中学）の美しい
 校章は、晋の車胤が螢を集めてその光で書を読み、孫康が雪を積んだその明かりで学に励ん
 だという故事——すなわち、卒業式で歌われる『螢の光』を図案化したものである。さらに、
 校歌の一節「螢雪行く手を照らすかな」とはこの校章からの引用だ。

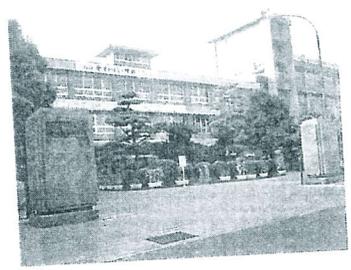
同校が生んだ著名人の最右翼は、建築界のドンこと丹下健三（一九一三～二〇〇五／旧制
 広島高校〔現・広島大学〕—東京帝大建築科→同大学院）だろう。広島平和公園や代々木
 体育館、新田の東京都庁舎、新宿パークタワー、フジテレビ本社ビルなどを手がける一方で、
 黒川紀章や磯崎新などの後進の育成にも力を注いだ。

今治西の野球部は全国レベルの強豪で、春二回・夏三回準決勝進出の実績を上げている。
 ヤクルトスワローズの左のエース藤井秀悟（一九七七～／早大）は、同校三年次にエース兼
 四番として春の甲子園に出場、ベスト４進出を果たし、「伊予の怪腕」としてスカウトたち
 を唸らせた。

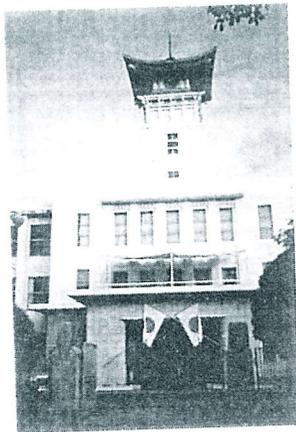
瀬戸内海の真ん中に浮かぶ小さな島に育ち、同校に通うために
 高校時代から下宿したというのが、フジテレビアナウンサー長野
 翼（一九八一～／早大・一文）だ。同校は、ほかにTBSアナウ
 ンサー武方直己（一九六三～／中央大・経済）も輩出している。

生涯に二九本もの映画を撮り、いずれもクオリティの高い作
 品に仕上げているのが、映画監督森一生（一九一～／八九／松山
 高校〔現・愛媛大学〕—京都帝国大学美学科）。特に一九五〇年

1章 名門公立高校人脈



今治西高校



高知追手前高枝

代終わりから六〇年代にかけて、市川雷蔵や勝新太郎と組んで『薄桜記』や『不知火陣校』などの傑作を連発、死後一五年以上経った今も、若い監督や評論家からリスベクトとされつつけている。

世界的なジャズトランペッター近藤等則（一九四八〜／京大・工／京大・文）は、同校が生んだ異色の存在だ。金儲け至上主義の東京に嫌気がさし、現在はアムステルダムに拠点を置いて活動している。

同校の合格実績は、東大三名、京大八名、阪大九名、九大一〇名、愛媛大三七名、早大一名、慶大四名と素晴らしい数字を挙げている。

高知

「仰ぐは高き時計台 久遠の時を刻みつつ」と校歌でも歌われる、県立高知追手前高等学校（高知市／一八七八年創立／県庁内陶治学舎変則中学―県師範学校附属変則中学―高知中学―第一中学―高知城東中学―高知新制高校―追手前高校）の時計台は同校のシンボル。一九三一年、西洋建築に日本の城郭風の屋根を載せた帝冠様式で建造され、高知大空襲、南海大地震の時も壊れずに現存している。よさこい祭りメイン会場の追手筋通りにあり、数年前に

高知を訪れたとき、私も仰ぎ見たことがある。

合格実績の面では、県内の有力私立高校に押され気味だが、同校は、物理学者寺田寅彦（一八七八〜一九三五／五高「現・熊本大学」―東京帝大・物理学科）や「ライオン宰相」こと浜口雄幸（一八七〇〜一九三二／東京帝大・法科―大蔵省）など、歴史に真の意味で名を成した人を輩出している。

寅彦はいわずと知れた物理学者で、X線により結晶構造を解析する（ラウエ斑点）という、世界的にみても先駆的な研究を行っている（金平糖の角の研究は有名）。その一方で、五高時代に漱石に学んだ、門下でも最も傑出した文人のひとりだ。

「いわゆる頭のいい人は、言わば足の早い旅人のようなものである。人より先に人のまだ行かない所へ行き着くこともできる代わりに、途中の道はたあるいはちよつとしたわき道にある肝心なものを見落とす恐れがある」『科学者とあたま』と、いわば学歴至上主義に警鐘を鳴らす名言も残している。